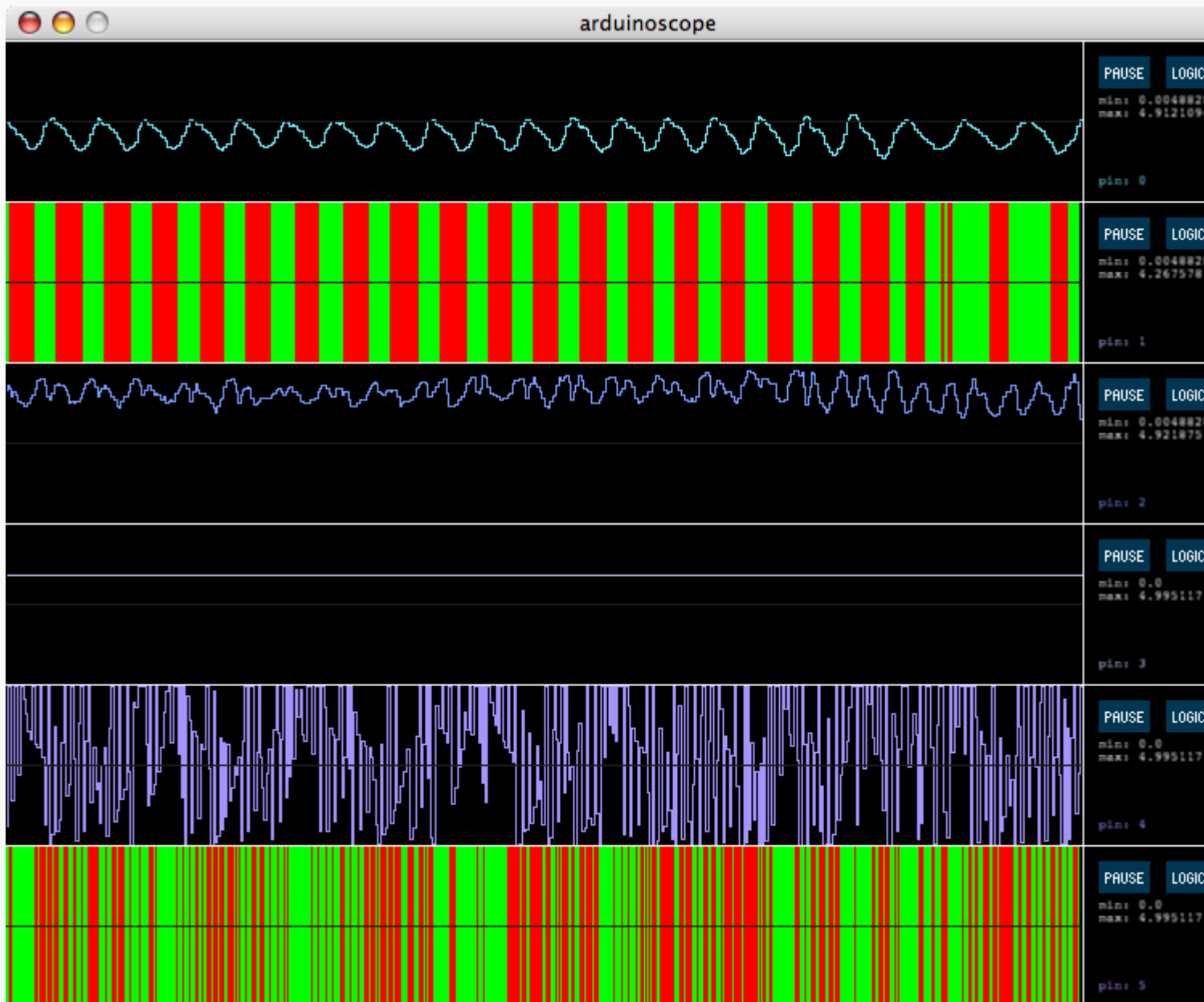


Arduinoで簡易的なオシロスコープ的なことができます。



試してみる

<http://accrochages.drone.ws/en/node/90>

これを元に作られたアプリを

<http://code.google.com/p/arduoscope/>

ここからダウンロードできます。

Arduinoに入れるスケッチ

http://arduoscope.googlecode.com/files/arduino_oscilloscope.pde

オシロアプリ

<http://arduoscope.googlecode.com/files/application.macosx.zip>

<http://arduoscope.googlecode.com/files/application.linux.zip>

<http://arduoscope.googlecode.com/files/application.windows.zip>

Arduinoで新規スケッチ作成し、arduino_oscilloscope.pdeをコピーし保存。実行。
オシロアプリを起動！で普通は動きそうだがだめだった。

Processingで実行

ウインドウのサイズとかチャンネル数とかを変えたいし。

- Processingを入れる。 <http://www.processing.org/download/> 1.0.5
インストールしてなにかサンプルを実行してみる。

- controlP5ライブラリを入れる。 <http://www.sojamo.de/libraries/controlP5/>
解凍して、[processingのSketchbookフォルダ]/libraries/controlP5となるように配置。

- arduinoscope.pde
オシロアプリのZIPの中にあるarduinoscope.pdeをコピーしてProcessingで実行する。

- Fontの作成
Fontデータを自分で作る必要がある。
<http://labs.uechoco.com/blog/2008/02/processingvfw.html>
好きなフォントデータを作ってソースのフォント名を直して再実行。

- シリアル通信速度の変更
ArduinoのスケッチとProcessingのスケッチの中にある速度指定の値を2カ所書き換える。
デフォルトでは115200になっているが、このままだと信号の波形がガタガタだった。
38400まで落とすとすとなめらかになった。